

震災で苦しむ認知症の人が「一人でも」「少しでも」安心して避難所で過ごせるために
～つながりの力で、支援ガイドを関係者に伝えてください～

*大地震、津波、被爆の恐れ・・・想像を絶する体験の中で住まいを失い、避難所での生活を余儀なくされている人が数十万人。その中に認知症の人が多数含まれています。

*すべての人の「生（命、生活、人生）」が危機的な状況の避難所では、認知症の人への支援は後手後手になりがちで、遅れるとどんどん対応が困難になったり、元気そうだった方が短期間に命を落とす場合もあります（避難所から認知症の人が行方不明になった実例が、すでに出ています）。

*できるだけ早い段階で、本人と家族らの状態が悪くなっているのを少しでも食い止めないと、当事者はもちろん、周囲への負荷が増すばかりです。

*避難所生活の長期化が危ぶまれる中、避難所で認知症の人と家族らが少しでも安心して過ごせるための支援を行う参考にしていただくための、「避難所で頑張っている認知症の人と家族等の支援ガイド」を作成しました（これまでの震災時の避難所での支援体験や関係者の情報等をもとに作成したものです）。

*みなさまの” つながり” を活かして、これから被災地・避難所の支援に入る予定の人、すでに支援に入っている人等に支援ガイドを紹介していただき役立てていただければ幸いです。

*認知症の人の支援に焦点を当てて作成されたものですが、ストレスに特に弱い人たち・子供たちの支援にも、どうぞ参考に。

*なおこのガイドは、現地で実際に支援している人たちの声をもとに、順次バージョンアップしていく予定です。ご意見やアイデア、情報を下記までお寄せいただければありがたいです。

*多数の被災者の中の「一人」でも、「少しでも」、避難所で安心して過ごせますように。そして一日も早く、普通の暮らしに戻ることを切に祈りながら。

2011年3月17日

認知症介護研究・研修東京センターケアマネジメント推進室
東京都杉並区高井戸西1-12-1

e-mail : knagata@itsu-doko.net

<http://itsu-doko.net>